

ちいきの安心 育てるこくほ 受け継ぐこくほ

ふくしまの 国保

2010 No.

第59巻 第6号
平成23年3月31日発行

6

■トピックス

平成22年度通常総会開催

平成23年度の事業計画及び予算が可決承認





表紙



●ひな祭り保育参観
伊達市 保原第二保育園

この日は、春の近づきを感じるひな祭り。お父さん、お母さんと踊ったり、ひな祭りにちなんだお絵かきや工作をして、みんなで給食。健やかな成長ぶりに笑顔の絶えないひな祭りでした。

このたびの震災による被害を受けられた皆様の安全と健康、一刻も早い復旧、そして子どもたちの笑顔が戻るのを心から祈るばかりです。

■彩四季	1
猪苗代町長 津金 要雄	
■トピックス	2
平成22年度 通常総会	
■Let'sほけん調査! Part-1	8
平成21年度特定健診・保健指導 ～法定報告の結果から見えるもの～	
■Let'sほけん調査! Part-2	12
糖尿病をめぐる福島県の状況	
■My Essay ～国保の仲間たち～	14
阿部 萌葉 (伊達市 国保年金課給付係)	
小貫 仁士 (矢祭町 町民福祉課健康グループ)	
■Dr.の健康メモ	16
猪狩 次雄 (福島県国保診療報酬審査委員会委員)	
■DATALAND	18
■連合会日誌	22
■連合会からのお知らせ	23
■連合会行事予定・求償事務Q&A・編集後記	24

福島の国保

福島県国民健康保険団体連合会ホームページ URL <http://www.fukushima-kokuho.jp/>

本誌に関するご意見・ご要望や、国保に関する話題などをお寄せ下さい。
福島県国民健康保険団体連合会事業振興課企画求償係まで

☎024-523-2743 ☎024-523-2704 E-Mail: jigyuu@fukushima-kokuho.jp

■発行所 福島県国民健康保険団体連合会
福島県福島市中町3番7号 ☎024-523-2700(代) ☎024-524-1041(代)

■印刷所 株式会社 阿部紙工
福島市庄野字柿場1-11

彩四季

「平凡な私の健康法」



猪苗代町長 津金 要雄

「自身の健康方法は」と問われると、はたと考えてしまう。今まで怪我をしたり、病気になった回数はかなりになる。今の幼稚園児と同じ年頃の時、鯉の骨を喉につかえて大騒ぎし、お医者さんのお世話になったことがあった。昭和20年代初めの頃で、食べる物も少なく、「鯉濃（こいこく）」などは大変なご馳走だったから急いで食べようとし、起こした騒ぎであった。本人のそそっかしさによるもので、後に母親から、「あのときは死ぬかと思ったよ」とからかわれたものである。小学生の頃、疫病にかかって血便が続き、学校を半月程度休んだこともあった。高校三年になって受験勉強にうち込もうと殊勝な心がけになった処で咯血し、肺浸潤（はいしんじゅん）を起こしているとの診断で療養生活を余儀なくされ、一年間の休学となった。社会人となって家業の製材業を継ぐことになると、作業現場に積んであった材木が崩れ、その下敷きとなり足の骨が折れた。開放性骨折とかで右足がブラブラの状態になり、完治迄一年半程かかった。39歳の頃、それ迄の過度の飲酒が祟り、胃の切除手術をし、その後間もなく腸閉塞を惹き起こし、これまた手術をすることになった。回復する迄これ2年程を要した。

いろいろな病気や怪我を経験してきたが、その後の現在に至る30年程は、ほとんど病気も怪我もせずに過ごさせていただいている。これも偏に、その都度適切な治療をしていたいたお医者さんはじめ医療機関の皆さん、

そして心配して呉れた母親のお陰だと、往時をふり返りしみじみと感じている。さらには必要な医療の提供を保障する医療保険制度の恩恵も享けている訳であり、大変多くの方々のお世話にもなっているということになる。

その医療保険、特に国民健康保険制度の財政基盤が揺らぎ、制度維持が容易でない状態である。このような時こそ、保険者である市町村と被保険者である住民がお互い協力しあい、収入と支出、受益と負担の均衡を図ることが求められる。当然ながら自分の健康は自分で守る努力が基本であると同時に、保険者もその意識向上対策に努めねばならない。40才過ぎから今日迄、町の議会活動や行政の仕事に係わってきたが、以前のように怪我や病気をせずに過ごしている。仕事柄、緊張感と責任感を持ちながらやってきた。自ずと体調には気を使い、規則正しい生活を心がけて来た。日本酒が好きで結構飲むのだが、次の日を考え飲み過ぎは控えている。人間、適度の緊張感が必要だが、仕事上の緊張感は長く続くとストレスとなり体調を崩すことになりかねない。これを柔らげるにはやはり適度の飲酒が良いのではないかと考えている。

本町の幼稚園、保育所の子ども達に先生が、「早寝、早起き！」と声を掛けると「朝ごはん！」と元気な声が返って来ると言う。因みにこの子達の朝ごはんの欠食率はほぼゼロと聞いている。良い習慣を身につけることが一番の健康法ではないか。



平成22年度通常総会開催

平成23年度の事業計画及び予算が可決承認

2月23日(水) 福島市『福島県自治会館』

福島県自治会館で開かれた総会には、55保険者の首長等が出席（全61保険者、委任状提出4保険者）し、慎重なる審議の結果、報告事項2件、議決事項24件が原案どおり可決、決定された。

挨拶する浅和会長▶



▲開会宣言する鈴木副会長

総会は、鈴木義孝副会長（三春町長）が、出席者に謝意を表し、開会を宣言した。

引き続き開催の挨拶に立った浅和定次会長（大玉村長）は、冒頭で後期高齢者医療制度の廃止に触れ、「75歳以上の高齢者を国保と被

用者保険に戻し、国保分については都道府県単位で財政運営を行う等の内容となっており、今後の動向を注視していかねばならない」と呼びかけた。

また、全てのレセプトが原則オンラインによる請求となることについて、23年10月請求分からは、従来よりも早期の支払いになることを報告した。

最後に、審査・支払事務について、「保険者が支払基金又は国保連合会のいずれかに委託できることとなり、審査支払機関の競争の時代を

迎える中、一層の効率化、医療費の適正化、保健事業の充実等、事業運営の強化に努め、会員である保険者の共同目的達成のため、積極的に取り組んでいく」と国保連合会の事業運営に理解と協力を求めた。

次に、小野町の宍戸良三町長を議長に選出し、議事へと入った。

役員の異動、専決処分といった2件の報告事項、23年度事業計画のほか各会計の歳入歳出予算など24件の議決事項、合わせて26件の議案が提出され、事務局から説明された。

議案第1号では、業務運営資金積立金の一部返還、及び会館整備資金積立金を会館補修へ充てることが諮られた。



▲事業計画を説明する佐藤事務局長



▲役員の異動を報告する吉川常務理事

報告事項

- 報告第1号 役員の異動について
- 報告第2号 平成22年度補正予算の専決処分について

議決事項

- 議案第1号 積立金の処分について
- 議案第2号 平成23年度事業計画
- 議案第3号 平成23年度負担金及び手数料等
- 議案第4号 平成23年度一般会計歳入歳出予算
- 議案第5号 平成23年度診療報酬審査支払特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定
 - B 国民健康保険診療報酬支払勘定
 - C 老人保健診療報酬支払勘定
 - D 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定
 - E 出産育児一時金等に関する支払勘定
- 議案第6号 平成23年度後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定（後期高齢）
 - B 後期高齢者医療診療報酬支払勘定
 - C 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定（後期高齢）
- 議案第7号 平成23年度国保基金特別会計歳入歳出予算
- 議案第8号 平成23年度共同電算処理事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第9号 平成23年度保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第10号 平成23年度介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定（介護）
 - B 介護給付費支払勘定
 - C 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定（介護）
- 議案第11号 平成23年度障害者自立支援事業関係業務特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定（障害者自立支援）
 - B 障害介護給付費等支払勘定
- 議案第12号 平成23年度国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計歳入歳出予算
- 議案第13号 平成23年度特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定（特定健診・特定保健指導）
 - B 特定健診・特定保健指導等費用支払勘定
- 議案第14号 平成23年度妊婦健康診査委託料支払特別会計歳入歳出予算
- 議案第15号 平成23年度職員退職金特別会計歳入歳出予算
- 議案第16号 平成23年度福島県保険者協議会関係業務特別会計歳入歳出予算
- 議案第17号 平成23年度福島県国民健康保険団体連合会一時借入金について
- 議案第18号 平成22年度診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算（第2号）
 - A 業務勘定
- 議案第19号 平成22年度後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算（第1号）
 - A 業務勘定（後期高齢）
- 議案第20号 平成22年度保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳入歳出補正予算（第1号）
- 議案第21号 平成22年度介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算（第1号）
 - A 業務勘定（介護）
- 議案第22号 平成22年度国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計歳入歳出補正予算（第1号）
- 議案第23号 平成22年度職員退職金特別会計歳入歳出補正予算（第1号）
- 議案第24号 役員の改選について



▲予算を説明する片平事務局参事

そのほか、以下に掲載した23年度事業計画（4～5ページ）、各会計の歳入歳出予算（6ページ）、並びに役員の改選（7ページ）が諮られ、慎重なる審議の結果、いずれも原案のとおり可決、承認された。

なお、任期満了のため、今期を以って退任する浅和会長は、「皆さんの協力によって3期を

無事に務められた。国保連合会の果たす役割はますます大きくなってきているので、今後も一会員として、皆さんと一緒に努力していきたい」と挨拶した。

最後に、鈴木副会長が閉会の辞を述べ、総会は閉じられた。

平成23年度 事業計画

第1 基本方針

国民皆保険体制の基盤となる国保制度においては、被保険者の高齢化や低所得者等の増加により益々厳しい財政状況となっている。

国においては、後期高齢者医療制度を廃止し、地域保険としての一元的運用の第一段階として、新たな高齢者制度を構築する方針を示している。その内容は、75歳以上の高齢者を従前どおりの国保と被用者保険に戻し、国保分は都道府県単位で財政運営を行うとしている。

一方、23年度から全てのレセプトについて原則オンラインで請求することとなり、23年10月の請求分から保険医療機関等に対して早期の支払いとなる。

レセプト等の審査・支払事務は、支払基金及び国保連合会のいずれかに委託できることとされ、保険者が委託先を選択できるよう、情報の公開が義務付けられる。

こうした中、本会は市町村等保険者・広域連合と連携を図り、諸問題に積極的に取り組み、審査の強化、事務の効率化、「国保総合システム」の導入等、更なる保険者のサービス向上に努める。なお、中期経営計画（22-26年度）に沿って、事務の効率化を推し進め、余剰金が生じた場合には必要に応じて積立金への積み立て、又は市町村へ還元するものとする。

第2 中期経営計画

1. 保険者の共同目的である「地域住民の健康増進」の寄与に努める。
2. 審査の充実・強化に努める。
3. システム関連経費の抑制に努める。
4. 事務の効率化・省力化により職員数の見直しを行う。
5. 人材育成・職員の質の向上に努める。
6. 会計業務の一層の適正・透明化を図る。
(単式簿記から複式簿記への移行)
7. 国保総合システムの円滑な導入を行う。



第3 国保総合システムの円滑な導入及び安定稼働

全国統一の国保総合システムを23年5月から稼働させ、次の対応を図る。

1. 各業務システムを自動連携し、業務負荷の軽減、利便性の向上、運用経費を削減。
2. 制度改正時などシステム開発の効率化及び品質を向上。
3. 一次審査における縦覧・横覧、調剤突合審査を行い、審査機能を充実・強化。保険者のレセプト点検業務の軽減。
4. 保険者機能の拡充による保険者及び国保連合会業務の効率化。
5. 23年10月からの診療報酬及び出産育児一時金の早期支払いへの対応。
6. 医療費分析など医療費適正化対策の対応。

第4 実施事業

1. 国保制度の改善強化と財政安定化対策の推進《実行運動の実施》
 - ①県国保関係者との意見交換会
9月28日 福島市
 - ②国保東北大会
10月26日 福島市
 - ③国保制度改善強化全国大会
12月1日 東京都
 - ④関係省庁及び国会議員に対する陳情
10-12月 東京都
2. 審査支払業務の充実強化（国保／後期）
 - (1)診療報酬審査委員会の審査環境の整備に努める。
 - (2)超高額レセプト（40万点以上）及び高点数レセプトの重点かつ適正な審査。
 - (3)支払基金と審査上の問題点等を情報交換し、審査基準の統一を図る。
 - (4)国保総合システムの稼働により、縦覧、横覧、調剤突合審査を実施し、一次審査を強化する。また、審査事務共助期間を拡大し、支払基金の査定率を目標とする。
 - (5)国保総合システムを利用して国保療養費の申請・支給管理業務の支援を行う。
 - (6)保険者が行うレセプト点検事務に対して、職員の派遣等による助言、共助を行い、医療費適正化を推進する。
 - (7)レセプト等を適正に管理し、個人情報保護体制を強化する。
 - (8)審査及び支払の計画（省略）
3. 介護保険業務並びに障害者自立支援業務の円滑な推進
 - (1)介護給付費の審査支払と介護保険者事務共同処理業務の円滑な推進に努める。
 - (2)苦情処理業務の充実と適正化に努め、苦情処理業務支援システムにより全国統計情報・

- 事例情報の有効活用を図る。
- (3)介護給付適正化システムにより、介護給付適正化対策事業を積極的に推進する。
 - (4)市町村担当者の研修会開催・資料提供
 - (5)介護給付費の審査・支払計画（省略）
 - (6)障害介護給付費の支払計画（省略）
 - (7)介護職員処遇改善交付金の支払
 - (8)福祉・介護人材の処遇改善事業助成金の支払
4. 介護・自立支援システム「1拠点集約化」の円滑な導入

介護・自立支援システム関連機器は、25年度に同時に更新時期となるため、システム統合と共同保有・運用により初期費用と運用経費を削減するため、1拠点集約化が全国の国保連合会で合意された。また、ネットワーク環境も既設の回線に変えることで高速化と経費節減を図る。「1拠点集約化」の導入費用等は積立金を活用する。
 5. 新・国保3%推進運動と各種保健事業の強化
 - (1)「新・国保3%推進運動の状況」を作成・配布
 - (2)国保税収納率向上対策研修会の開催と「国保税(料)収納率向上対策の状況」を作成・配布
 - (3)在宅保健師の組織活動をより推進する。
 6. 保険運営安定化対策事業の展開
 - (1)保健事業活動の共同支援事業
 - ①保健師の設置
 - ②市町村保健活動推進協議会
 - ③国保保健事業活動の情報交換
 - ④「福島県国民健康保険疾病分類統計表」の冊子作成・配布
 - ⑤各部会保健活動支援事業
 - ⑥健康づくりふれあいセミナーの開催
 - ⑦市町村保健師等専門研修会の開催
 - (2)医療費適正化等に関する事業

【保険者に対する事業】

 - ①第三者行為求償事務の支援
 - ②各種会議の開催
 - ③福島県国民健康保険診療報酬等審査支払状況の作成・配布
 - ④事業課統計システムによるデータ提供
 - ⑤後発医薬品希望カードへの取組み
 - ⑥退職被保険者適用適正化対策共同事業
 - ⑦予防のための医療費分析モデル事業

【被保険者に対する事業】

 - ①国保のしおり（パンフレット）の配布
 - (3)研修会等の事業
 - ①国民健康保険・高齢者医療担当新任職員研修会
 - ②第三者行為求償事務研修会
 - ③国保トップセミナー
 - ④保険料(税)適正算定マニュアル研修会
 - ⑤国保担当者・保健事業担当者合同研修会
 - ⑥福島県国保運営協議会連絡会



- ⑦国保地区部会連絡会議
- (4)広報事業
7. 国保財政安定化研究事業

県の実情を踏まえながら学識経験者を中心とした調査・研究を行う。

▶福島県財政安定化推進研究会
8. 特定健診・特定保健指導における特定健診等データ管理システムの処理及び法定報告の取りまとめ
9. 福島県保険者協議会事業

広報事業や研修会、更には各医療保険者の医療費分析等、事業の展開を図る。
10. 保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業
11. 福島県国保地域医療学会の開催

国保関係者が、地域住民の保健・医療・福祉の向上に寄与するものとして開催する。
12. 保険者共同事業の強化
 - (1)国保総合システム等を活用し、更なる保険者事務処理の効率化に寄与し、利用の充実を図る。
 - (2)ネットワークを統合整備し、事務処理の効率化を図る。
 - (3)後発医薬品の普及促進に係る分析データの提供及び差額通知作成により医療費の適正化に努める。
13. 後期高齢者医療制度関連業務
14. 年金からの保険料特別徴収における情報経由機関連業務
15. 国保高齢者医療制度円滑導入基金事業
16. 高額医療・高額介護合算制度にかかる計算事務
17. 出産育児一時金直接払制度の対応
18. 診療報酬支払資金の融資

国保基金による診療報酬支払資金及び国保事業運営資金の融資を行い、保険者の財政運営の円滑化を図る。
19. 諸会議の開催（省略）
20. その他の事項
 - (1)国保事業についての必要な図書、資料等を斡旋または配布する。
 - (2)その他本会の目的達成のために必要な事業を行う。

福国連公告第214号

平成23年2月23日に開催した本会総会において議決を得たので公告する。

記

- 1 平成23年度一般会計及び特別会計歳入歳出予算
 - (1)平成23年度一般会計歳入歳出予算
 - (2)平成23年度診療報酬審査支払特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定
 - B 国民健康保険診療報酬支払勘定
 - C 老人保健診療報酬支払勘定
 - D 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定
 - E 出産育児一時金等に関する支払勘定
 - (3)平成23年度後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定(後期高齢)
 - B 後期高齢者医療診療報酬支払勘定
 - C 公費負担医療に関する診療報酬支払勘定(後期高齢)
 - (4)平成23年度国保基金特別会計歳入歳出予算
 - (5)平成23年度共同電算処理事業特別会計歳入歳出予算
 - (6)平成23年度保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳入歳出予算
 - (7)平成23年度介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定(介護)
 - B 介護給付費支払勘定
 - C 公費負担医療等に関する報酬等支払勘定(介護)
 - (8)平成23年度障害者自立支援事業関係業務特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定(障害者自立支援)
 - B 障害介護給付費等支払勘定
 - (9)平成23年度国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計歳入歳出予算
 - (10)平成23年度特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計歳入歳出予算
 - A 業務勘定(特定健診・特定保健指導)
 - B 特定健診・特定保健指導等費用支払勘定
 - (11)平成23年度妊婦健康診査委託料支払特別会計歳入歳出予算
 - (12)平成23年度職員退職金特別会計歳入歳出予算
 - (13)平成23年度福島県保険者協議会関係業務特別会計歳入歳出予算

平成23年3月31日

福島県国民健康保険団体連合会
会長 浅和 定次

福国連公告第215号

平成23年2月23日に開催した本会総会において議決を得たので公告する。

記

- 1 平成22年度特別会計歳入歳出補正予算
 - (1)平成22年度診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算(第1号)
 - (2)平成22年度診療報酬審査支払特別会計歳入歳出補正予算(第2号)
 - (3)平成22年度後期高齢者医療事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算(第1号)
 - (4)平成22年度保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)
 - (5)平成22年度介護保険事業関係業務特別会計歳入歳出補正予算(第1号)
 - (6)平成22年度国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計歳入歳出補正予算(第1号)
 - (7)平成22年度職員退職金特別会計歳入歳出補正予算(第1号)

平成23年3月31日

福島県国民健康保険団体連合会
会長 浅和 定次

福国連公告第216号

平成23年2月23日に開催した本会総会において議決を得たので公告する。

記

- 1 積立金の処分

平成23年3月31日

福島県国民健康保険団体連合会
会長 浅和 定次

福島県国民健康保険団体連合会役員名簿

任期 { 自 平成23年4月1日
至 平成25年3月31日

役名	職名	氏名	備考
会長	三春町長	鈴木 義孝	
副会長	川俣町長	古川 道郎	(会長代行)
〃	石川町長	加納 武夫	
〃	白河市長	鈴木 和夫	
〃	西会津町長	伊藤 勝	
〃	いわき市長	渡辺 敬夫	
常務理事		吉川 三枝子	
理事	福島市長	瀬戸 孝則	
〃	二本松市長	三保 恵一	
〃	郡山市長	原 正夫	
〃	鏡石町長	遠藤 栄作	
〃	矢祭町長	古張 允	
〃	檜枝岐村長	星 光祥	
〃	磐梯町長	五十嵐 源市	
〃	昭和村長	馬場 孝允	
〃	広野町長	山田 基星	
〃	南相馬市長	桜井 勝延	
監事	伊達市長	仁志田 昇司	
〃	平田村長	澤村 和明	
〃	中島村長	加藤 幸一	
〃	喜多方市長	山口 信也	
〃	飯舘村長	菅野 典雄	
〃	公認会計士	高橋 宏和	

平成23年度 各会計歳入歳出予算

(単位：千円)

区分	予算額	区分	予算額
一般会計	303,544	介護保険事業関係業務特別会計	
診療報酬審査支払特別会計		(業務勘定)	2,800,157
(業務勘定)	988,943	(介護給付費支払勘定)	134,676,930
(国民健康保険診療報酬支払勘定)	149,676,715	(公費負担医療等に関する報酬等支払勘定)	890,819
(老人保健診療報酬支払勘定)	15,750	障害者自立支援事業関係業務特別会計	
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)	5,829,714	(業務勘定)	37,976
(出産育児一時金等に関する支払勘定)	7,140,010	(障害介護給付費等支払勘定)	20,037,687
後期高齢者医療事業関係業務特別会計		国保高齢者医療制度円滑導入基金事業特別会計	7,788,535
(業務勘定)	1,230,927	特定健康診査・特定保健指導等事業特別会計	
(後期高齢者医療診療報酬支払勘定)	225,099,760	(業務勘定)	47,793
(公費負担医療に関する診療報酬支払勘定)	357,537	(特定健診・特定保健指導等費用支払勘定)	900,006
国保基金特別会計	2,245,443	妊婦健康診査委託料支払特別会計	1,446,046
共同電算処理事業特別会計	80,570	職員退職金特別会計	46,701
保険財政共同安定化事業・高額医療費共同事業特別会計	23,546,933	福島県保険者協議会関係業務特別会計	1,053
		計	585,189,549



Let's ほけん 調査！ Part 1

平成21年度特定健診・保健指導

～ 法定報告の結果から見えるもの ～

会津地方と県南の一部地区で高い受診率

図1は、県内61保険者（59市町村国保、2国保組合）の21年度特定健診受診率の状況を示したものである。被保険者が多い市部や中通り地方は受診率が低く、会津地方や県南の一部地区が高くなっている。

全国平均を上回る受診率

図2では、各保険者の健診対象者数の規模別で受診率2ヶ年度分を表している。県平均を見ると、20年度は36.39%、21年度は36.85%であり、いずれも全国平均を5.5ポイント程度上回った。2ヶ年を比較すると、2年目となる21

図1 21年度特定健診受診率（法定報告速報値より作成）

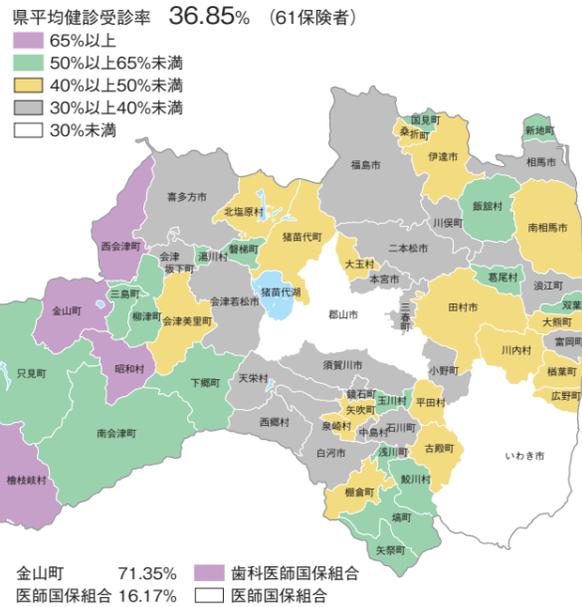
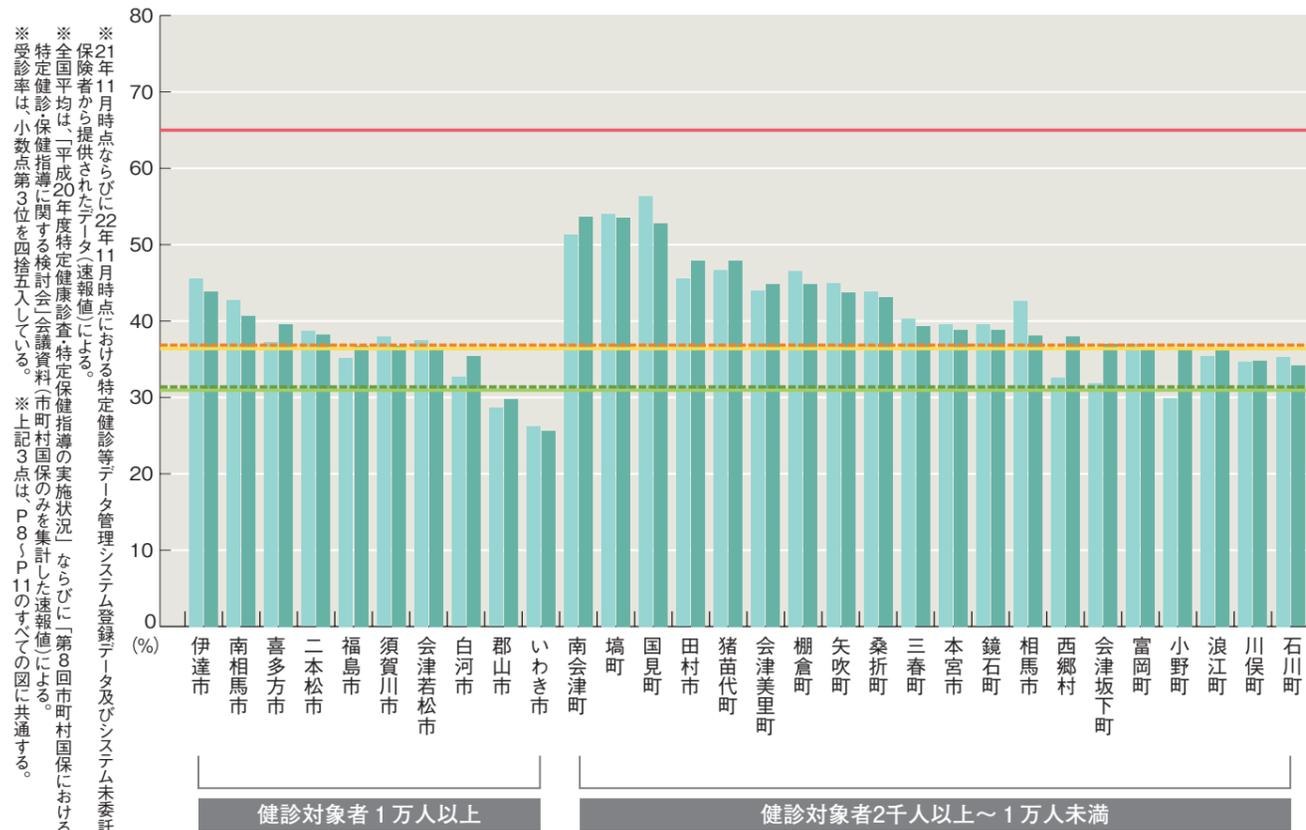


図2 20・21年度特定健診受診率（健診対象者数規模別）



度の県平均はやや上昇しており、その中でも20年度に高い受診率であった保険者の多くが、21年度もさらに上昇している。一方で、市部では受診率が伸び悩んでいる状況が伺える。

なお、61保険者中5保険者が、国の基本指針が示す目標値の参酌標準65%を超える結果となっている。

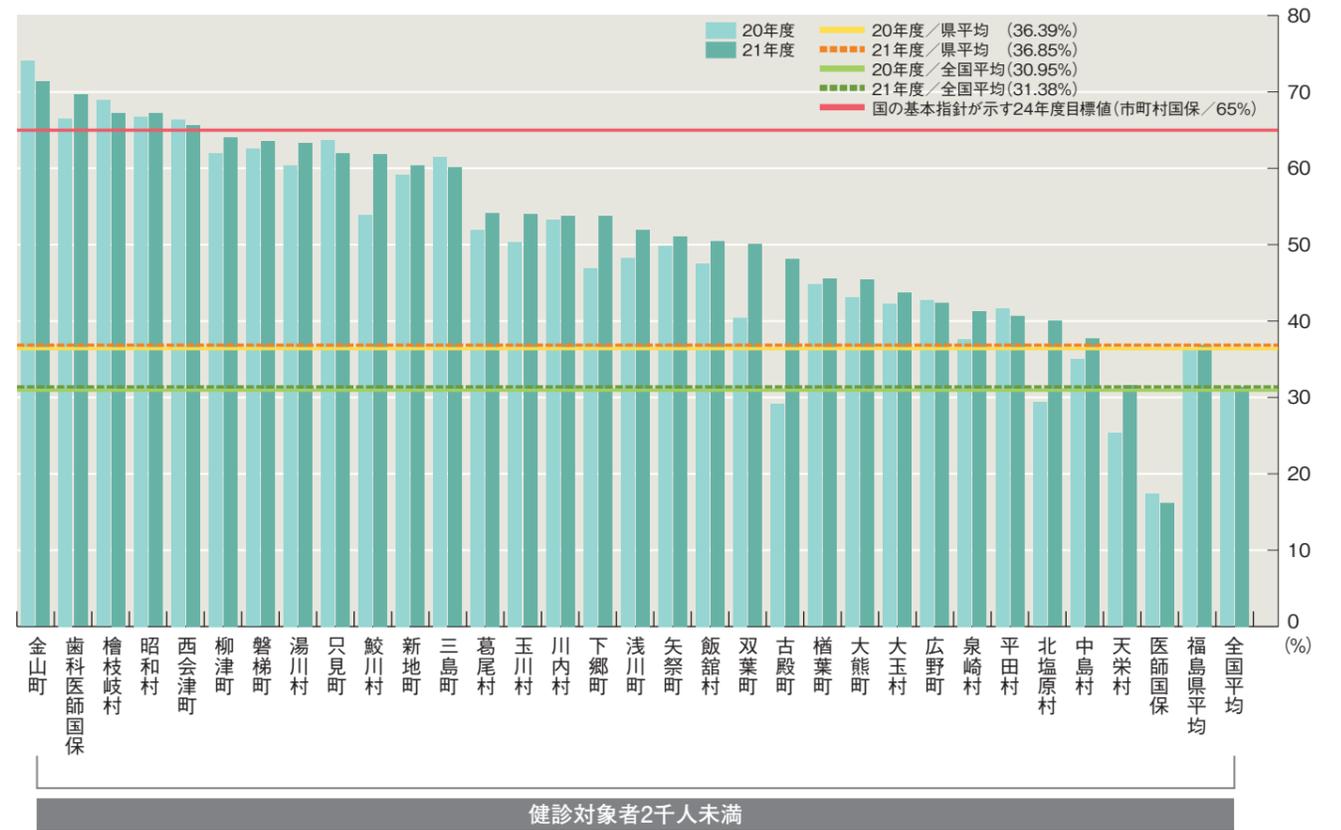
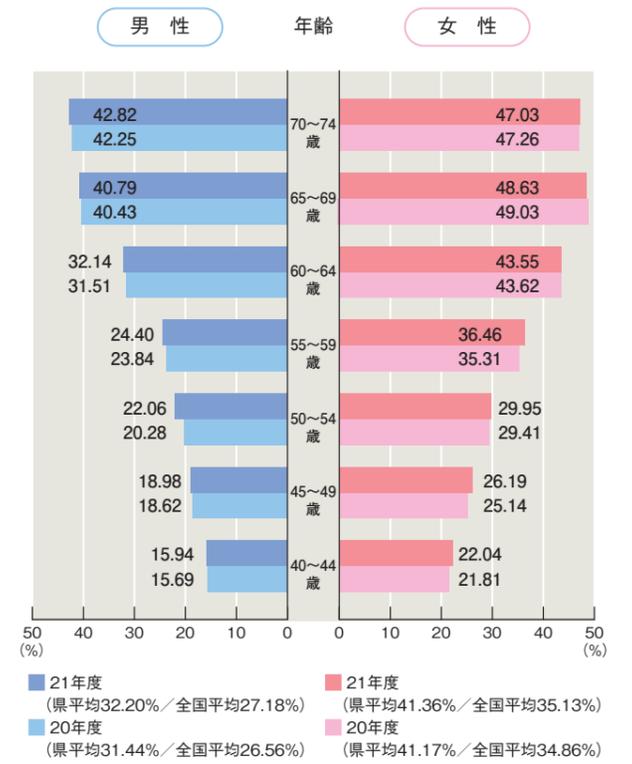
男女とも受診率微増

図3では、性別と年齢階級別で特定健診受診率を表しているが、男性は20年度31.44%、21年度32.20%で、女性は20年度41.17%、21年度41.36%といずれも21年度がやや高くなっている。これは、全国平均でも同様である。

性別で比較すると、全ての年代で女性の受診率が男性を上回っている。特に男性の課題をみると、全ての年代で多少の伸びがみられたが、40歳代では、10%台の受診率に留まっていることがあげられる。

糖尿病等の生活習慣病に主眼を置いた特定健診において、引き続き若い世代への受診率向上対策が課題である。

図3 20・21年度特定健診受診率（性別・年齢階級別）



全国平均にとどかない 県内の保健指導終了率

図4は、特定保健指導の動機づけ支援、積極的支援のそれぞれの終了者を合わせ、終了率として59市町村国保と2国保組合の状況を示したものである。

全国と本県を比較すると、20年度の全国平均が15.17%、県平均が14.27%、21年度の全国平均が21.44%、県平均が16.15%と、特定健診受診率では全国を上回っていたが、保健指導ではいずれの年度も全国平均を下回っている。

そして、国の基本方針が示す目標値の参酌標準45%を超えているのは、20年度では6保険者であったが、21年度では5保険者（檜枝岐村、只見町、三島町、昭和村、鮫川村）となっている。

また、21年度で全国平均を上回っているのは、前述の5保険者の他に15保険者ある。このうち、5ポイント超の伸びをみせたのは、7保険者（白河市、南相馬市、大玉村、南会津町、猪苗代町、中島村、葛尾村）である。

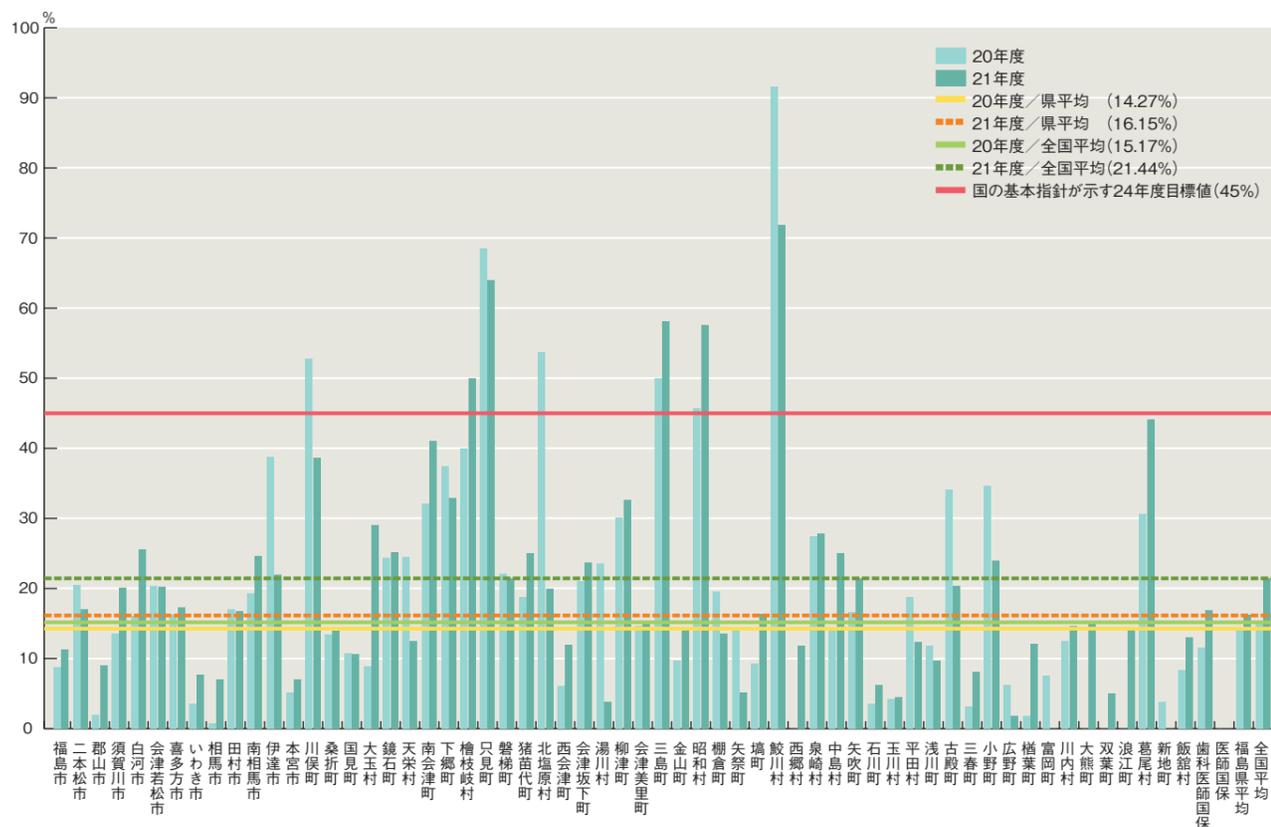
生活習慣を改善し、行動変容につなげるために

特定保健指導の対象者は、身体メカニズムと自身の生活習慣との関係を理解し、自らが選択して行動変容につなげることが大切である。

そして、実施主体の保険者においては、健診結果の経年変化と将来予測を踏まえ、データ分析等を通じて、集団としての健康課題の設定、目標に沿った保健指導を計画的に実施しなければならない。個々人の健診結果を読み解くと共に、ライフスタイルを考慮した対策が求められる。

保健指導の実施について、県内では80%を超える保険者が外部委託をせず直営のみで対応している。全国的には60%強が直営のみであり、それを上回る数値だ。体制や質の確保、対象者の満足度等課題は尽きないが、結果を出す保健指導が求められるのは間違いない。かなりの人的資源が必要であるが、保険者はそれぞれに工夫と努力を重ねて対応していく必要がある。

図4 20・21年度特定保健指導終了率（法定報告速報値より）



内臓脂肪症候群と高血圧症の対策を

図5は、健診受診者に占める内臓脂肪症候群該当者と予備群者の割合を、男女別・年齢階級別で示している。これによると、いずれも男性が高い割合となっている。また、男女共に年齢が高くなるほど該当者等が増加傾向にあるが、特に女性の方が著しい。2年という期間では、該当者率の増減の比較は困難であるが、保健指導等実施後の評価として大切な指標の一つであり、特に注視していく必要がある。

次に、特定健診受診者を対象に実施した質問表から、20・21年度の服薬の状況を図6のとおりグラフ化した。（※紙面の関係上、縦軸の表示（%）の長さを調節していることに注意）県平均で見ると、高血圧症では20・21年度共に全国平均より服薬率が高く、21年度では評価対象者の約35%が服薬している。脂質異常症では、21年度で約18%であり、全国平均と同じような傾向である。糖尿病も約6%と全国平均と同等である。

なお、保険者別にみると、服薬率の高い保険者は、3疾患共に高い傾向にある。

今後の取組みとして、相対的に高い服薬率を示す高血圧症を中心とした生活習慣病予防対策の必要性が強く示唆される。

図5 20・21年度健診受診者（評価対象者）に占める内臓脂肪症候群該当者等の割合（性別・年齢階級別）

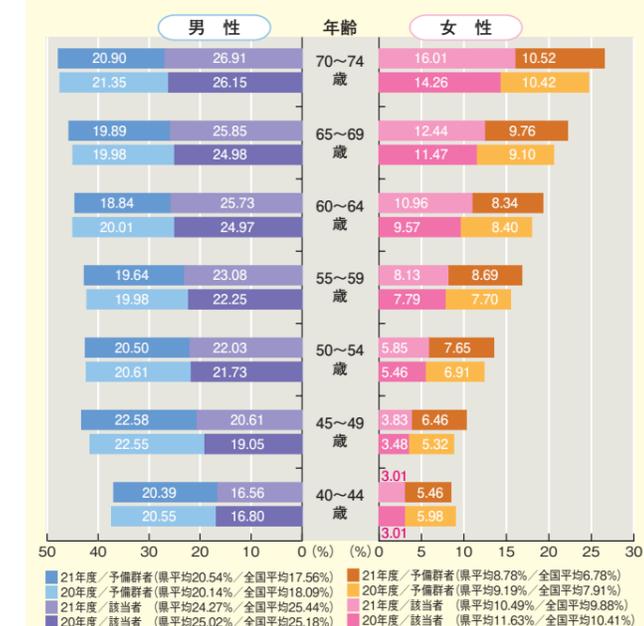
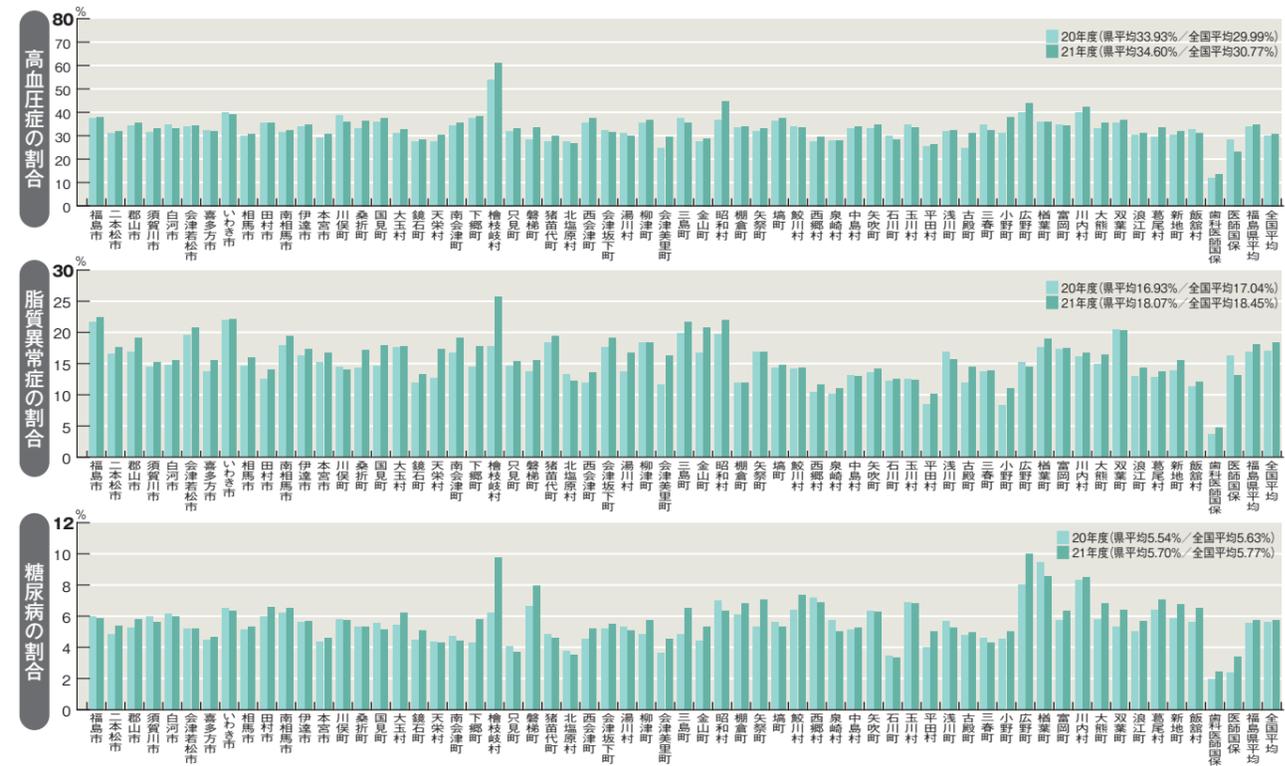


図6 20・21年度質問表にみる服薬の状況（保険者別）



事業振興課 ~ お問い合わせはこちらまで 保健調査係 024-523-2752 各種保健事業、保健指導支援ツール
企画求償係 024-523-2743 企画広報事業

Let's ほけん 調査！ Part 2

糖尿病をめぐる福島県の状況

～ 医科・歯科のレセプト情報
(5月診療分) から ～

インスリンの作用不足から来る糖尿病

糖尿病は、インスリンの作用不足による慢性の高血糖状態を主な症状とする代謝疾患群を言う。インスリンの作用不足の要因には、次の2種類があげられる。

①インスリンの分泌不足

遺伝的要素や食べすぎ、飲みすぎによるすい臓の疲れが要因で起こる状態

②インスリンの抵抗性

肥満・運動不足の2大要因によりインスリンが十分にあって働けない状態

糖尿病患者は増加傾向

本県における過去25年間の糖尿病の推移をみると、図1のとおり件数割合が1.52%から4.54%と3.02ポイント増加し、点数割合も2.38%から4.82%と2.44ポイント増加している。なお、2008年度に後期高齢者医療制度が施行されたことで、それ以降、75才以上が含まれていないことを鑑みると、2010年度はさらに伸びていたと推測される。

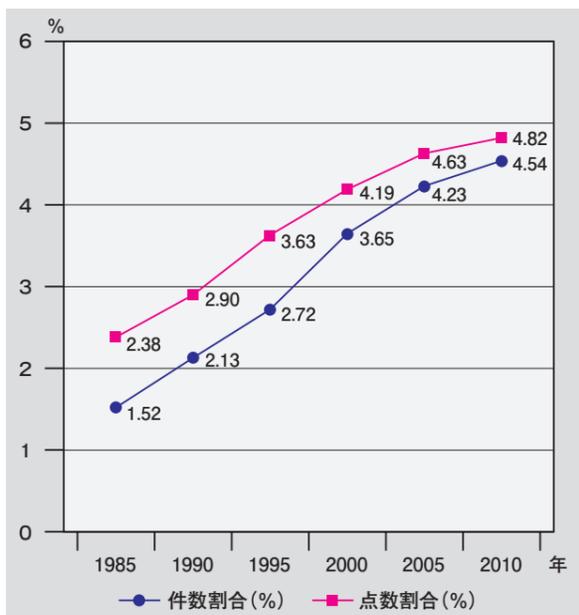
糖尿病は、医療費に多大な影響をもたらす「心臓病・腎臓病・脳血管障害等の大血管障害」の基礎的疾患であり、増加する糖尿病患者の発症予防・重症化予防が医療費の伸びを左右する重要な課題と思われる。

表1 男女別糖尿病年次推移

年度	男 性		女 性		総 計	
	受診率(%)	1件当たり医療費(円)	受診率(%)	1件当たり医療費(円)	受診率(%)	1件当たり医療費(円)
2008	3.90	25,094	2.96	22,603	3.44	24,040
2009	4.04	25,417	2.89	22,724	3.48	24,320
2010	4.03	25,786	2.82	23,887	3.43	25,010

(図1、表1共通) ※疾病分類コード0402を「糖尿病」として抽出 ※2008年度からは後期高齢者医療制度のレセプトを含まない
※各年度の共同電算委託保険者のデータを使用

図1 福島県糖尿病レセプトの推移 (件数割合・点数割合)



※件数割合・点数割合共に、全レセプトのうち、糖尿病のレセプト件数・点数が占める割合

受診率・医療費は男性、 医療費の伸びは女性が上回る

表1で糖尿病患者の受診率をみると、男女とも過去3年間で横ばいの状況であるが、男性が1ポイント程度女性を上回り、1件当たり医療費の額でも、2000円程度上回っている。

一方、1件当たり医療費の伸びでは、この3年で男性は692円の増加、女性は1284円の増加と、こちらは女性が上回る状況となっている。

患者の理解と患者を取り巻く人たちの 連携で治療する

糖尿病は心血管性疾患の大きな危険因子である。これについて、ある糖尿病専門医は、「患者は糖尿病に関して、ほとんどというほど危機意識がない」と危惧する。

また、糖尿病患者は他の疾患患者よりも医療費が高く、自覚症状も少ないため、その治療に対する理解がないと治療を放置してしまう。治療の意義を正しく伝えるためには、医師だけではなく、関係スタッフとの連携や家族の協力が重要である。

検査値で病気を正しく認識する

自覚症状が少ない中でも、一般的な糖尿病の症状と思われるものは、尿に泡が出る、甘いものを欲する、体がだるい、のどが渇く、体重が減るなどであるが、これらの症状は、空腹時血糖値が250mg/dl、HbA1c (JDS値) が9.0%以上とならないと出ないことが多い。糖尿病と診断されるのは、空腹時血糖値が126mg/dl以上、HbA1c (JDS値) が6.0%以上などとなっている。(「糖尿病治療ガイド2010」より)

特定保健指導の対象者は、空腹時血糖値が100mg/dl以上、HbA1c (JDS値) が5.2%以上となっており、次の様な症状が表れる場合がある。しかし、老化による症状や他の疾患の症状と思われるやすく、糖尿病につながる状態であることを自覚しにくい。

- ・手足のしびれ、冷え、違和感、むくみ
- ・立ちくらみ、めまい
- ・物が見えづらい、ぼやける

よくある症状のため
糖尿病だと自覚しにくい

これらの症状が、糖尿病による大血管障害や細小血管障害によって引き起こされている可能

性がある。したがって、検査でしか把握できない軽い状態のうちに、病気を正しく認識し、生活習慣を改善して、糖尿病の発病を抑えることがポイントとなる。

健康のためにも医療費のためにも

糖尿病治療の医療費は高いと言われているが、具体的にどの程度の医療費が必要となるのかをみていこう。

境界型の糖尿病 (3ヶ月毎の検査)

…………… 25000円程度
内服のみの治療 …………… 17万円程度
インスリン注射を要する治療 … 50万円程度

※ 年間の医療費総額

例えば、腎臓に合併症を起こすと…

人工透析を要する治療 …………… 500万円程度

※ 年間の医療費総額

糖尿病は1日で起こるものではなく、生活習慣を見直さない限り、よくある症状のまま進行する。早期に発見し進行を抑えるには、特定健診を受診して数値を確認しておくことが重要である。

なお、糖尿病の治療中の方でも重症化を防ぐため、食事や運動、服薬によって血糖をコントロール出来ているのかの確認が必要である。

また、特定健診を受診し、特定保健指導の対象となった場合には、「今の生活をどのように改善すればいいのか」といったアドバイスを受け、実践していくことが健康寿命の延長につながる。

事業振興課 ～ お問い合わせはこちらまで

保健調査係 024-523-2752 各種保健事業、保健指導支援ツール
企画求償係 024-523-2743 企画広報事業



伊達市
阿部 萌葉

Moyuha Abe

- 所属課・係
国保年金課 給付係
- 主な業務 (担当年数)
国保資格等 (4月で1年)
- 趣味・特技
無趣味ですが、面白いことは何でも好きです。

伊達市国保年金課

由美子さんが笑います。由美子さんの笑い声に今度は真柴さんが笑います。真柴さんは私にとって何ていうか、メシアです。入庁した瞬間から毎日助けていただいています。森さんはいつも元気で笑顔の華やかな方です。登茂さんは歩く図書館みたいに物知りな方で、英子さんは健康にとっても気を使っています。

それと、賦課係の皆さんです。岡崎係長はダンディーでかっこいい方です。菅井さんは容赦ない突っ込みします。後輩への愛ゆえだと無理やりポジティブに考えることにしました。とは言っても、落ち込んだこともないですが…。雅博さんは優しいです。雅博さんをいじめる人がいたら許しません。容子さんは仕事ができる女性で、それでいて言動がとにかくかわいいです。密かにツボです。原田君は…ええ、まあ原田君です。なんというか…まあいいんです、原田君は。

ちなみに私は、勤務5年と言われる程態度が大きいですが、やっと1年になる新人です。先日23歳になりました。伊達市野球部のマネージャーをしていますので、見かけたら声をかけてやってください。

国保年金課は今日もみんな仲良く、楽しくお仕事しています。



▲国保年金課の皆さんと私

まさか自分にはこないだろうと妙な自信がありました。このたび見事にご指名をいただきました。何もおもしろいことは書けませんが、私一人のことを書いても更に皆様に楽しんでいただけないと思いますので、伊達市国保年金課についてご紹介したいと思います。

怒られたらどうしましょうか。…いやいや、そんな心が狭い方々ではないと信じています。信じてますよ！皆さん。

まずは大橋課長です。課長はお酒を飲むとおもしろいことになります。

続いて、私が所属する給付係です。齋藤係長はとても仕事熱心な方です。私の残業と休日出勤仲間です。係長もお酒を飲むとおもしろいことになります。小野さんはおもしろいくしゃみします。小野さんがくしゃみすると



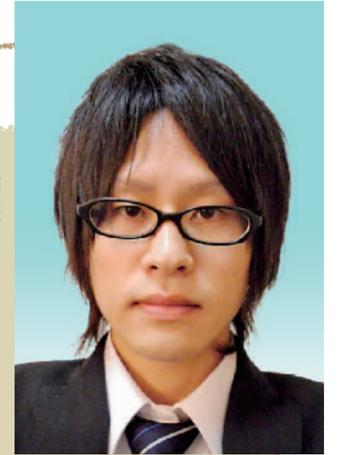
My Essay ～酷保の仲間たち～

まさか私に依頼が回ってくるとは思いもしていませんでした。卒論を3ページで済ますような矢祭町町民福祉課健康グループ小貫仁士には荷が重すぎます。ちなみに健康グループに健康な人はいません。もちろん私も健康ではありません。

私は【広く浅く】【熱しやすく冷めやすい】タイプです。単純に飽きっぽいのと興味が移ろいやすいだけです。そのおかげで色々なことを経験してきましたが、身についたものはひとつもありません。ドラクエシリーズもFFシリーズも途中で投げっぱなしでクリアしたことがないんです。何事も中途半端に残るのがポリシーであるかのような中途半端っぷりです。

そんな半端なく半端者の私でも半端じゃないものがあります。お酒です。社会人なら1升や2升は余裕だろうって？中身がトマトジュースならね！実は私、まったくお酒が飲めないんです。飲めるようになろうとがんばった時期もありましたが、結局顔が紫色になる癖と飲んだものを30分以内に社会に還元する癖はなおりませんでした。こういう体質はアルコールを分解する遺伝子がもともと体内に存在しないので、飲めば飲むほど毒を溜め込んでしまうそうです。と、いかにも健康グループらしいことを申し上げておきます。

でも飲み会はけっこう好きです。新規採用職員研修で知り合った人たちとも何回か飲み会をしまして、そのたびに矢祭の同期の足として大活躍しております。新規採用の人たちはともかく、私の友人に悪酔いをする人はたぶんいないので、健康グループなのに介護を担当するなんてことは今のところありません。ただ、楽しい飲み会で盛り上がっているときに無理やりテンション上げたら「おま



矢祭町
小貫 仁士

Hitoshi Onuki

- 所属課・係
町民福祉課 健康グループ
- 主な業務 (担当年数)
保険給付とか資格管理とか (11ヶ月)
- 趣味・特技
toto bigを当てて6億円の使い道を妄想することです。ちゃんとシミュレーションしておかないと、いざというときに困りますからね。

え素面なのにノリおかしいな」なんていわれたことはありました。酔っぱらいのくせに無駄に冷静ですね。

という訳で、みなさんも健康には気をつけてください。



▲私はどこでしょう？(ヒント:カメラマン)

アルコールは麻薬より危険

まやく きけん

猪狩次雄

福島県国保診療報酬審査委員会委員



酒と麻薬は同列？

適量の飲酒は全死亡率を低下させ、健康にプラスである。一方、過度の飲酒は死亡率を大幅に上昇させる（1993年、アメリカの保健科学協議会）とされておりますが、イギリスの研究者から広い意味での“薬物（ドラッグ）”には違法薬物だけでなく承認医薬品（厚生省が認めた薬）の乱用、アルコールやタバコも含まれるとし、いろいろな有害性を評価しアルコールが72点、ヘロインが55点と続き、アルコールが最も危険で、規制薬物に分類すべきであると報告しております（メディカルトリビューン2011年1月）。イギリスやオランダで同様な研究報告がされているそうですし、昨年の麻薬取締官の講演で、“酒も麻薬と同列”とのお話を拝聴しました。禁酒法時代（アンタッチャブル）が来るかもしれません。

減少しつつある飲酒習慣

2009年11月に実施された国民健康・栄養調査では、飲酒習慣（週3日以上、飲酒1日当たり1合以上）のある者は2009年、男性36.4%、女性6.9%で6年前（男性42.9%、女性9.3%）に比べ少なくなっていると報告されております（図1）。

図1 飲酒習慣のある者の割合の推移

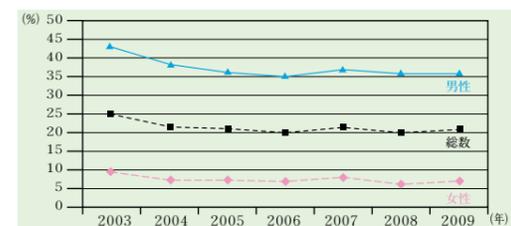
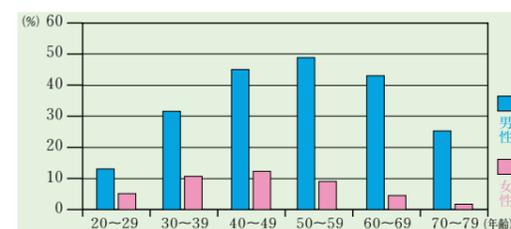


図2 年齢層別飲酒習慣者の割合



若年者は少なく中高年に多い結果も出ております（図2）。息子が飲まないのは親父としては寂しくもありますが、それもよいか

も知れません。若者が中高年になった時にはお酒は“麻薬”になっているかも知れないのですから。

酒とのお付き合い

「酒は百薬の長」とされています。某日本酒メーカーのホームページには、“「酒は百薬の長」とは中国の漢書から出た言葉で、酒は人間のすばらしいパートナー。それぞれの酒を飲むのに適した温度で、香りとコクを楽しみつつ、ゆったりとした気分で飲めば、ストレスを解消し、心を安らかにしてくれます。酒を「百薬の長」とするためには、肝臓への負担を少なくして、肝臓を疲れさせないことです。脂の少ない肉、魚、豆腐など、肝臓に活力を与える高タンパク、高ビタミンの肴を摂りながら飲むことが大切です。アルコール濃度の高い酒を一気に飲んだり、空腹時に何も食べずに飲んだり、また脂肪分の多い肴をとり過ぎると肝臓に大きな負担をかけます。日本酒を1日に1～2合という飲酒パターン（筆者：1日1合、週3日で飲酒習慣ですよ！）は、肝臓のためにもよく、生活の知恵といえそうです。酒を名実ともに「百薬の長」とするためには、酔うために飲むのではなく、楽しむために飲み、明日の活力を養っていただきたいものです。”と掲載されております。飲酒習慣のある筆者が患者さんに長年、伝えて来たことと全く同じです。

「酒は百薬の長」は漢書にあるとのことなので調べてみますと、王莽（おうもう）（幼い主人を毒殺し、「新」を建国した皇帝）が酒を専売にするために云った言葉『夫鹽食肴之將、酒百薬之長、嘉會之好。鐵田農之本、名山大澤、饒衍之臧。』（※1）とされております。日本の酒にも税がかかっていると何となく胡散（うさん）臭くなります。税をとるためにタバコも酒もいわゆる麻薬扱いされていないだけではないかと麻薬取締官の講演を思い出してしまいます。

酒を飲むと血管が拡張して血圧が下がってよい、でも低血圧で搬送される患者さんもおりますし、長期的には高血圧の原因に



なるとされております。ストレス解消と云っても下戸（げこ）（※2）や家族にはストレスになります。多量飲酒は脳卒中の危険因子であるし、中性脂肪や血清尿酸値（痛風）も上昇させます。口から大腸までのガン、肝臓ガンの危険性も増加するとされております。メタボリックシンドロームもと、キリがありません。断っておきますが、筆者は酒屋さんの敵ではありません。お酒は嫌いではありません。TVドラマ『相棒』のラストの居酒屋シーンを見ると飲みたくなります。

でも、酒量を減らしてゆき、酒を止めるのが最良のようです。お酌にきた人を“自分に害をなす人”とまで考えることはありませんが、“飲酒習慣者”は犯罪者のような響き（≒麻薬常習者）を持つかも知れません。お酒は週に2日以内、1日あたり1合未満に、“醜（かい）より始めよ”（※3）です。

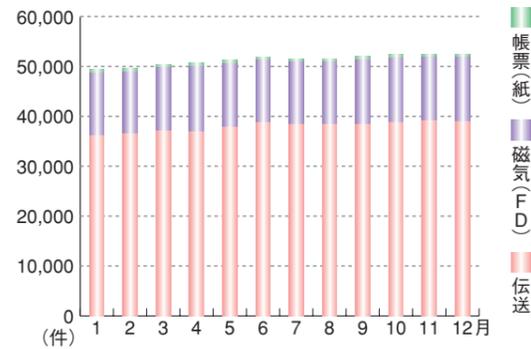
※1 【漢書・卷二十四下・食貨志下】より
 そもそも塩は食物に最も肝心なもので、酒は多くの薬の中で最も優れており、めでたい会合で嗜むよきものである。鉄は農耕の基本となるものであり、名山や大きな湖沼は、狩猟や漁業の豊饒（ほうじょう）な倉庫なのである。
 ※2 体質的に酒やアルコール飲料を飲めない人のこと。
 ※3 遠大な事をするには、まず手近かなことから始めるのがよいということ。また、事を始めるには、言い出した本人から始めよ、の意にも用いる。

介護保険 通信

11月から12月提供月の取扱件数並びに支払状況等について

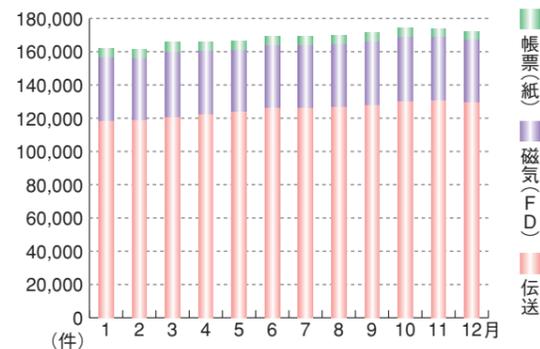
給付管理票

給付管理票	11月提供月		12月提供月	
帳票（紙）	589件	1.1%	615件	1.2%
磁気（FD）	12,769件	24.3%	12,945件	24.7%
伝送	39,089件	74.5%	38,903件	74.2%
合計	52,447件	100.0%	52,463件	100.0%



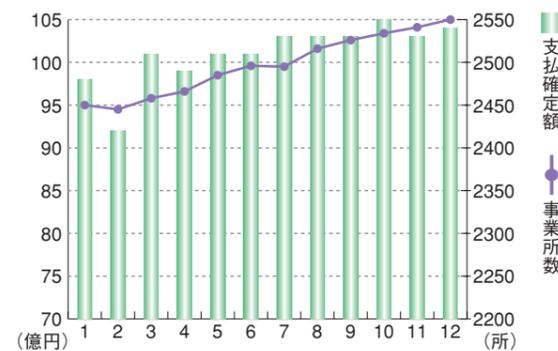
介護給付費明細書

介護給付費明細書	11月提供月		12月提供月	
帳票（紙）	5,260件	3.0%	5,082件	2.9%
磁気（FD）	38,221件	22.0%	37,949件	22.0%
伝送	130,369件	75.0%	129,292件	75.0%
合計	173,850件	100.0%	172,323件	100.0%



介護給付費支払状況

介護給付費支払状況	11月提供月		12月提供月	
事業所数	2,541事業所		2,550事業所	
件数	受付	174,550 (前月保留分700) 件	172,972 (前月保留分649) 件	
	返戻	2,320 (当月保留分649) 件	2,172 (当月保留分619) 件	
	過誤	1,119件	558件	
	確定	171,111件	170,242件	
支払確定額	10,319,612,481円		10,432,884,355円	



介護保険に関するお問い合わせは… 本会介護保険課まで ☎024-523-2702（苦情相談窓口専用電話 ☎024-528-0040）

国保・後期分

レセプト 審査 状況

平成22年12月審査分（11月診療分）

審査受付：1,339,165件（100.32%）

特別審査分*1：28件（155.55%）

高点数*2：3,943件（99.07%）

（ ）内は前月比

最高点数レセプト

(1) 国保

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	731,850	入	23	女	10歳未満	左心低形成症候群
歯科	88,504	入	30	男	60代	右側下顎臼歯下顎骨悪性腫瘍

(2) 後期高齢者医療

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	954,401	入	30	男	70代	腹部大動脈瘤
歯科	264,608	入	30	女	70代	舌癌

平成23年1月審査分（12月診療分）

審査受付：1,357,681件（101.38%）

特別審査分*1：26件（92.85%）

高点数*2：3,988件（101.14%）

（ ）内は前月比

最高点数レセプト

(1) 国保

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	1,186,098	入	20	女	60代	胸部大動脈瘤破裂
歯科	90,409	入	31	男	60代	右側下顎臼歯下顎骨悪性腫瘍

(2) 後期高齢者医療

	請求点数	入外	日数	性別	年代	傷病名
医科	1,259,524	入	31	男	70代	腹膜偽粘液腫
歯科	107,587	入	31	女	80代	左側舌縁癌

*1：40万点以上のレセプト（歯科分のレセプトは20万点以上）

*2：8万点以上40万点未満のレセプト

*3：*1～*2ともに返戻分および調剤分のレセプトを除く

11月診療分

NOVEMBER

■医科・歯科

区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数	416,216	34,264	409,256
日数	875,244	66,550	1,082,216
費用額	9,993,172,910	810,896,030	15,045,786,450
受診率	78.30%	94.27%	146.71%
1日当たり費用額	11,418	12,185	13,903
1件当たり費用額	24,010	23,666	36,764

■調剤

区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数	204,862	16,833	225,950
日数	262,435	20,772	308,079
費用額	2,356,553,060	196,883,390	3,516,542,500
1回当たり費用額	8,980	9,478	11,414
1件当たり費用額	11,503	11,696	15,563

■食事・生活療養費

区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数（再掲）	9,811	606	17,112
回数（再掲）	468,835	23,122	830,849
費用額	312,664,098	15,516,774	567,785,032
1回当たり費用額	667	671	683
1件当たり費用額	31,869	25,605	33,181

■訪問看護療養費

区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数	439	32	624
回数	2,222	170	4,197
費用額	23,454,050	1,699,350	42,106,850
1回当たり費用額	10,555	9,996	10,033
1件当たり費用額	53,426	53,105	67,479

※退職者医療分は、65歳未満の退職被保険者等が対象（平成26年度までの経過措置）
※後期高齢者医療分は、国保老人保健の月遅れ分を含む

12月診療分

DECEMBER

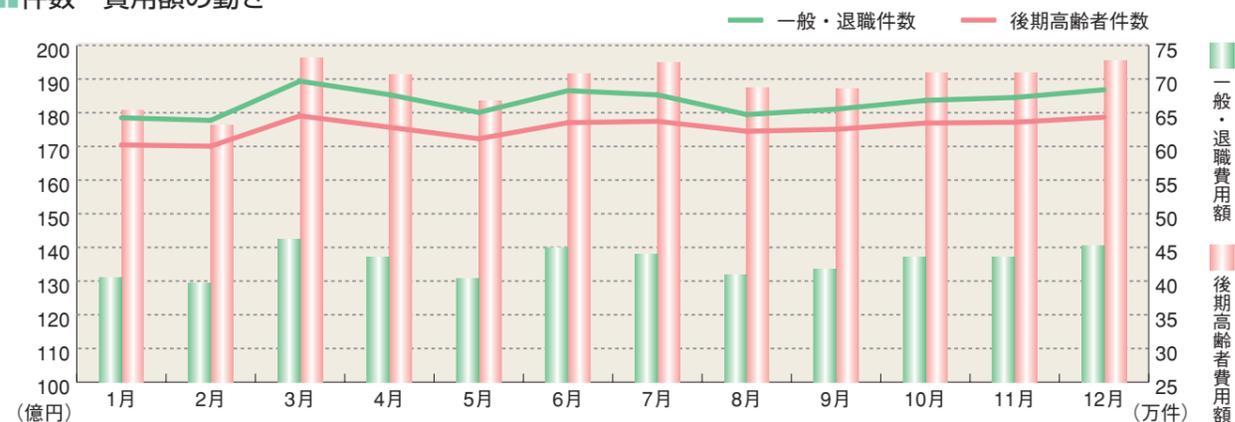
区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数	418,475	38,552	412,056
日数	873,787	74,538	1,082,350
費用額	10,038,328,010	930,546,350	15,183,097,750
受診率	78.85%	105.17%	147.72%
1日当たり費用額	11,488	12,484	14,028
1件当たり費用額	23,988	24,137	36,847

区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数	207,332	19,237	230,564
日数	265,664	23,668	313,614
費用額	2,496,175,710	234,475,780	3,726,082,590
1回当たり費用額	9,396	9,907	11,881
1件当たり費用額	12,040	12,189	16,161

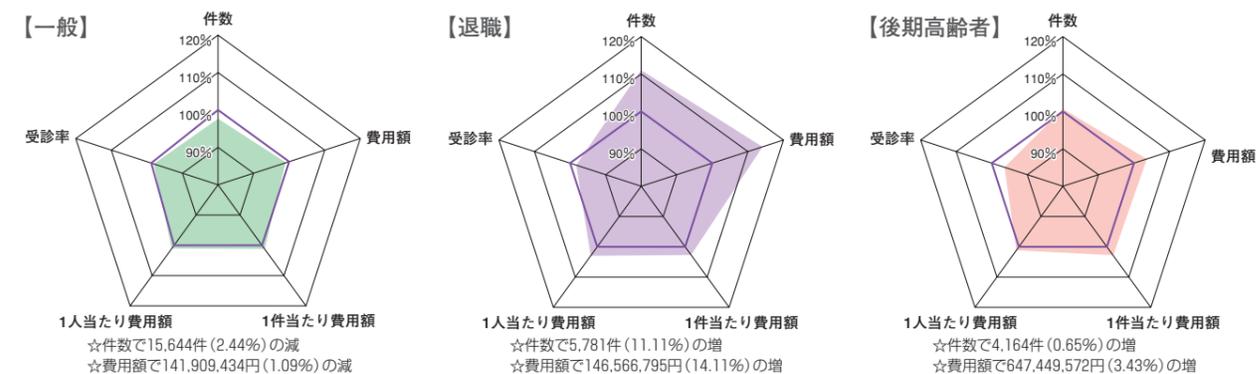
区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数（再掲）	9,633	710	17,063
回数（再掲）	468,622	28,219	848,652
費用額	312,319,232	18,917,764	580,000,086
1回当たり費用額	666	670	683
1件当たり費用額	32,422	26,645	33,992

区分	一般国保分	退職者医療分	後期高齢者医療分
件数	497	28	637
回数	2,632	156	4,294
費用額	26,925,950	1,537,350	42,937,572
1回当たり費用額	10,230	9,855	9,999
1件当たり費用額	54,177	54,905	67,406

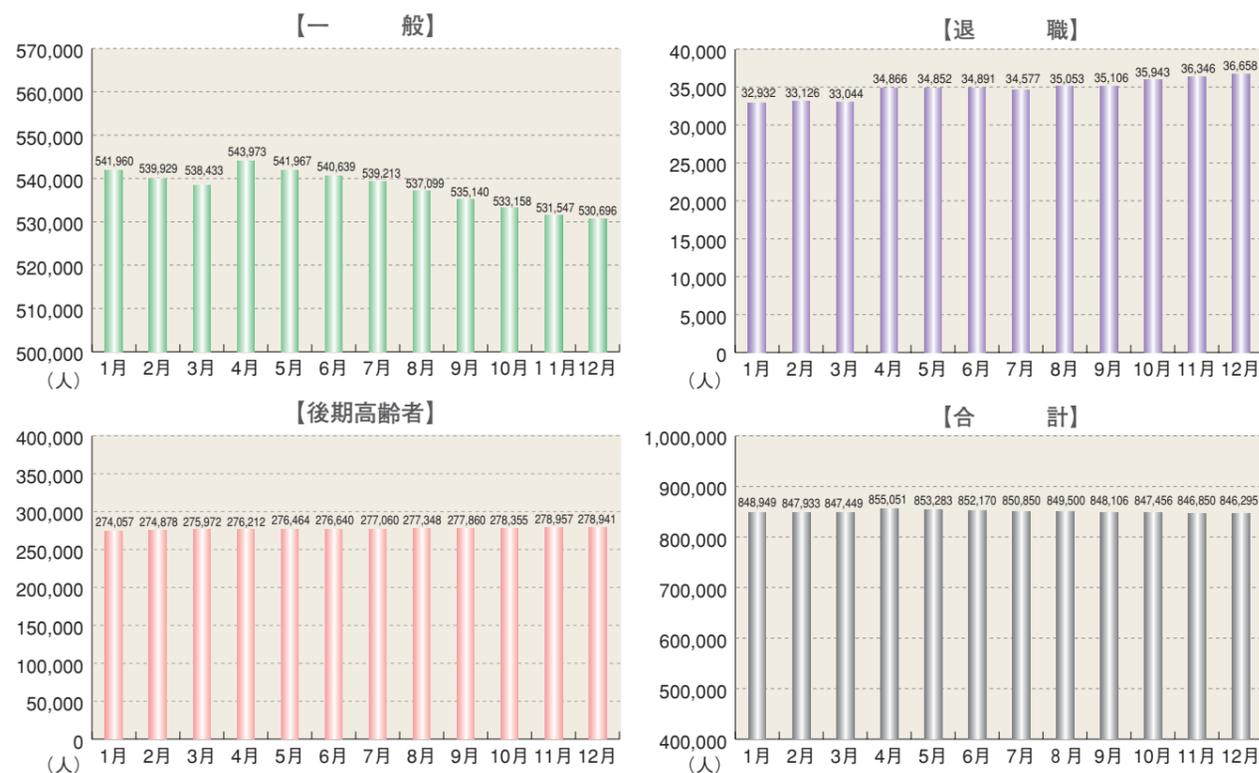
■件数・費用額の動き



■対前年度との比較（12月診療分）



■被保険者数の動き



2月 February

- 1日 ●国保保健事業活動の情報交換：二本松市
医療費と疾病の状況、特定健診・保健指導の進行状況等について情報交換を行いました。
- 第2回国保総合システム運用説明会：東京都
- 3日 ●在宅保健師の会「絆」県北地区会：本会2階役員室
22年度の活動の振り返りと23年度の活動方針、日程について協議し、来年度も会員が多く参加できる地区会にしていきたいという目標を掲げました。また、会員が講師となり「デコスーツ」づくりに挑戦しました。
- 5日 ●平成23年度職員採用試験（1次）
- 7日 ●国保保健事業活動の情報交換：田村市
- 9日 ●在宅保健師の会「絆」県中地区会：郡山市
22年度の活動の振り返りと23年度の活動方針、日程について協議し、認知証や上手な医者へのかかり方をテーマにした健康劇のシナリオを作成することなどが話し合われました。また、会員増を図りたいなどの意見が出されました。
- 15日 ●平成22年度（第22回）全国国保運営協議会会長等連絡協議会：東京都
- 17日 ●理事会：本会2階役員室
- 18日 ●全国国保連合会常勤役員会議：東京都
国保中央会の主催で開かれた会議は、全国の国保連合会常勤役員が参集し、まず厚生労働省保険局から23年度の国保制度運営について、国保連合会業務を中心に説明がありました。また、国保中央会からは国保総合システムの開発状況や診療報酬等の支払いの早期化、出産育児一時金等の取り扱いなどが説明され、対応を協議しました。
- 国保浜通り地区部会：いわき市
●審査委員会：本会5階大会議室（～21日）
●歯科部会：本会2階役員室
- 19日 ●在宅保健師の会「絆」浜通り地区会：富岡町
12月に山形市で開かれた在宅保健師等研修会について、出席した会員から報告されました。
また、23年度の活動方針や開催日程などが協議され、当地区会が会の目的に沿って発展していくよう議論を深めました。
- 21日 ●市町村保健活動推進協議会部会長会議：本会2階役員室
5部会（県北、県中、県南、会津、浜通）の部会長が参集し、各部会から22年度の事業実施状況について報告されました。
その後、本会七宮常任幹事より全国市町村保健活動協議会（全保協）の状況について説明があり、今後の対応を検討しました。
- 22日 ●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会2階小会議室
- 23日 ●総会：自治会館
本誌「トピックス」（2ページ）をご参照ください。
●国保保健事業活動の情報交換：福島市
- 24日 ●国診協通常総会：東京都
●再審査部会：本会5階大会議室
- 25日 ●第三者行為求償事務相談業務：本会2階役員室
- 28日 ●福島県保険者協議会医療費調査部会：本会2階役員室
来年度の事業計画として、各医療保険者がデータを持ち寄り、特定健診・保健指導に役立つデータ分析を目指す方向性を決めました。手始めに、年齢や疾病毎などの同じ視点から医療費の動向を見ていくとする意見が取り上げられました。



3月 March

- 福島県在宅保健師の会「絆」総会・研修会：郡山市「ビックアイ」
22年度の事業報告等の後、23年度の事業計画と各部会の活動計画を協議しました。また、役員改選にあたり新役員が承認され、4月1日から新たな体制でスタートすることになりました。
研修会では、講師に福島県歯科衛生士会副会長の小黒幸子氏を迎え、「介護予防でいきいき生活」と題した講演をいただきました。
- 2日 ●全国国保連合会事務局長会議：東京都
全国の国保連合会事務局長が参集した会議は、5月に稼働が予定されている国保総合システムの開発状況や国保連合会の準備状況を中心に意見交換され、その他、被用者保険保険者からの審査支払事務等の委託についてなどが協議されました。
- 3日 ●平成23年度職員採用試験（2次）
- 東北・北海道国保連合会常勤役員会議・事務局長会議：新潟県
新潟県を含む8道県の国保連合会が参集し、事務局長会議では次の事項について協議されました。
・平成23年度東北地方国保協議会事業について
・国保中央会の研修事業について
・各道県からの提出議題について（国保総合システムの対応等）
- 10日 ●東北地方太平洋沖地震（14:46頃）
被災のため、14日以降に予定しておりました会議等は延期または中止となりました。
- 11日 ●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会2階小会議室
- 23日 ●介護給付費審査委員会（医療部会）：本会2階小会議室



連合会からのお知らせ ～ 国保料（税）収納率向上にむけて

前号でお知らせした新聞広報に続き、国保料（税）の収納率向上を目的に、テレビとラジオCMを1月から2月に、バスマスクを2月から3月に実施しました。皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

事業振興課企画求償係 jigyou@fukushima-kokuho.jp



テレビCM



バスマスク



あなたの健康を支えています
国保料はきちんと納めましょう!!



国保料は期日までに納めましょう。
市町村国保健康保険・国保組合
福島県国保連合会



この度の災害により、予定しておりました各種会議等は、延期または中止となることが見込まれます。混乱を避けるため、日程が確定したもののから順次、関係各位にお知らせいたしますので、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

求償事務Q&A

保険者のお問い合わせの中から、お答えします。

Q1: 被害者(被保険者等)から高額療養費を支給申請されたが、支給しても差し支えないでしょうか?

A1: 交通事故の場合、相手加害者の任意保険が対応している時は、当該任意保険が医療機関に対して自己負担相当額を全額支払っているため、高額療養費の支給は二重払いになってしまいます。したがって、支給は出来ません。相手任意保険が対応していなかったり、任意保険未加入の場合は、自己負担相当額を相手自賠責保険、または相手加害者から直接受領していないか十分に確認の上、補填されていないのであれば、領収書等を確認して支給することになります。



Q2: 夫が運転を誤って電柱に衝突し、同乗中の妻が負傷した事故で、当該車両自賠責保険より限度額120万円を求償したが、まだ不足額がある場合は、夫に対して求償することは可能でしょうか?

A2: 夫の加入する任意保険においては、妻は免責とされるため、不足額は夫に対して直接請求することになります。その場合、医療費総額から自賠責保険による求償済みの120万円を差し引いた額を請求することになります。ただし、このように同一生計の親族に対する直接請求に当たっては、事故状況や家庭環境をよく鑑み、慎重に行う必要があります。

第三者行為(交通事故)に関してのご質問・ご相談等は、電話またはメールで、お気軽にお問い合わせください。

福島県国民健康保険団体連合会 事業振興課企画求償係
TEL: 024-523-2743 E-mail: jigyou@fukushima-kokuho.jp



編集後記

この度の東北地方太平洋沖地震で被害を受けられた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。そして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。今、世界中から被災地に対する祈りが届いています。観測史上最大とか想定外とか言われていますが、地球のものさしからすれば“くしゃみ”ほどでもなかったのかもしれない。人類は、クローンという生命や核爆弾という光や宇宙にあるかもわからない反物質さえも作り出せるとしていますが、多くの命を救えませんでした。今やその文明が作り出した原発の事故に苦しめられています。これほどまでに地球上の自然の中で生かされていると感じたことはありません。重度の被災地に比べれば、天国のような生活を過ごしている私にも多くの方々から励ましをいただきました。そうそう。見知らぬ人とも「大変だったね、お大事にね」と声を交わすのが日常になりました。のしり合うのではなく、人を敬い、人と信じあう感覚が被災地だけでなく、世界中に広がっていると信じます。(陽)

NEW 貸し出し機材のご案内

NEO活齡

機能のご紹介

- 暦の年齢ではなく、活力年齢(=身体の年齢)を算出し、からだの健康度を測定することができます。その他にカロリーチェック、体脂肪チェックが行えます。
- タッチパネル&音声ガイド付きなので操作が簡単です。また内臓プリンターで測定結果も印刷できます。

活力年齢で健康チェック!!



禁煙指導で大活躍!!



1年分のタールサンプル (写真左)

- 1日に1/2箱吸う喫煙者が、1年間で肺に取り込む発がん性物質の量を示しています。

禁煙指導用肺セットモデル (写真右)

- 健康な肺と喫煙者の肺のモデルです。
- 喫煙者の肺には灰白色の癌の塊、肺気腫によってできたスポンジ状の嚢胞を再現しています。

禁煙パネル (縦84.1cm×横59.4cm)

タイトルのご紹介

- けむりのないきれいな空気
- 喫煙と肺がん
- わたしはたばこをやめます
- がんになりたくないですね
- ママお願い!吸わないで

お申し込み
お問い合わせ

まずは、お電話で予約状況を確認していただき、本会ホームページの保険者専用ページ内、“貸し出し機材について”より「予約申込書」をダウンロードして、FAXにてお申し込み下さい。
事業振興課 保健調査係 ☎024(523)2752/☎024(523)2704
ホームページ http://www.fukushima-kokuho.jp/



Syoku no Chikara vol.06



朝食にみそ汁を

まな板トントン、たぎる湯音、香ばしい味噌のかおり。やっぱり朝はみそ汁と思いきや、みそ汁のない食卓が増えていきます。一人暮らしの学生が食べたい朝食は、ほかほかの白いご飯にみそ汁が付き物ですから、今では「憧れのひと椀」です。

みそ汁は、江戸時代に毎日つくる習慣が始まったと言われ、その後長い間、ご飯とともに副食として食べ継がれてきました。味噌の主原料は大豆なので、昔は貴重なたんぱく源として人々の健康を支えてきました。現在は、地域や各家庭の味として私たちの味覚ところを満たしてくれます。味噌は、緩衝作用があるためにどんな材料を用いても味が変化せず、コロイド状の粒子が魚や肉の臭み成分を吸着し消してくれます。ゆえに、みそ汁は、煮干しのように臭みはあっても濃いめのだしがよく合い、たっぷりの野菜に豆腐や肉を加え、卵を落とせば栄養豊かな一品となる合理的な料理です。だしは、仕上げに煮干し粉をさっと振り入れればOKです。朝食の温かいみそ汁は、体の中から温まり、眠っていた脳や体を目覚めさせてくれます。時間が無い時には、生味噌と鰹節とカットわかめに熱湯を注ぐだけでも、香り豊かなひと椀ができます。健康で元気な一日のスタートに、是非みそ汁を。